



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月12日
東

上場会社名 K L a b 株式会社 上場取引所
コード番号 3656 URL <https://www.klab.com/jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森田 英克
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 高田 和幸 (TEL) 03-5771-1100
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有 (<https://www.klab.com/jp/ir/library/>)
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日～2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	6,058	△27.5	△1,113	—	△1,182	—	△1,757	—
2023年12月期第3四半期	8,355	△33.2	△731	—	△454	—	△591	—

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 △1,469百万円(—%) 2023年12月期第3四半期 △503百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	△40.79	—
2023年12月期第3四半期	△14.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	17,719	11,399	64.3
2023年12月期	17,754	11,709	64.3

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 11,386百万円 2023年12月期 11,415百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日～2024年12月31日)

2024年12月期の連結業績予想については、合理的な業績予想の算出が困難であるため、非開示といたします。なお、今後の進捗を踏まえ、算定が可能になった場合は速やかに開示する方針です。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 - 社 (社名) - 、除外 2社 (社名) 株式会社BLOCKSMITH&Co.、
BLOCKSMITH&Co. Singapore Pte. Ltd.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期3Q	48,042,300株	2023年12月期	41,092,200株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	641,605株	2023年12月期	641,531株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年12月期3Q	43,084,464株	2023年12月期3Q	40,450,669株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

業績の概要につきましては、当社ウェブサイトに掲載しております、決算説明資料をご確認ください。

<https://www.klab.com/jp/ir/library/presentations/>

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間の売上高は、6,058,908千円（前年同期比27.5%減）となりました。これは主に、運営タイトルの見直しに伴い運営タイトル数が減少したことによるものです。

全体の売上高は前年同期比で減少しましたが、運営タイトルのうち『キャプテン翼 〜たたかえドリームチーム〜』の売上高については、第2四半期に開催した周年記念キャンペーンが好調だったほか、ゲームバランス改善の取り組みの効果もあり、前年同期を上回って推移しました。また、『BLEACH Brave Souls』が当第3四半期に開催した周年キャンペーンにより大きく伸ばしたほか、4月9日にリリースしたChangyou及びProphet Gamesとの共同プロジェクトである新作タイトル『ハイキュー!!FLY HIGH』も順調な滑り出しとなり、売上高の積み上げに寄与しました。

費用面では、売上原価は5,349,245千円（同23.0%減）となりました。これは主に、ゲーム事業の売上高に連動して支払手数料等が減少したことに加え、事業の見直しを含めた全体的な費用の抑制により、労務費、外注費、業務委託費等が減少したことによるものです。

販売費及び一般管理費は1,822,863千円（同15.0%減）となりました。これは主に、売上原価同様、事業の見直しを含めた全体的な費用の抑制により、労務費、外注費、業務委託費等が減少したことによるものです。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高6,058,908千円（同27.5%減）、営業損失1,113,200千円（前年同期は営業損失731,175千円）、経常損失1,182,078千円（前年同期は経常損失454,615千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失1,757,440千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失591,697千円）となりました。

なお、5月23日に東アジア及び東南アジアの一部地域において限定的にサービス提供を開始した『EA SPORTS FC™ TACTICAL』の会計処理に関しては、当社IRページ掲載の「2024年12月期第3四半期 決算説明資料」11ページ「『EA SPORTS FC™ TACTICAL』の会計処理について」の記載をご参照ください。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は17,719,453千円となり、前連結会計年度末に比べ、35,474千円の減少となりました。

流動資産合計は5,137,126千円となり、前連結会計年度末に比べ、227,179千円の減少となりました。これは主に、売掛金が420,903千円減少したことによるものです。

固定資産合計は12,582,326千円となり、前連結会計年度末に比べ、191,704千円の増加となりました。これは主に、ソフトウェア仮勘定が824,858千円増加したことによるものです。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は6,320,013千円となり、前連結会計年度末に比べ、274,380千円の増加となりました。

流動負債合計は5,206,103千円となり、前連結会計年度末に比べ、1,131,102千円の増加となりました。これは主に、短期借入金が1,000,000千円増加したことによるものです。

固定負債合計は1,113,910千円となり、前連結会計年度末に比べ、856,722千円の減少となりました。これは主に、長期借入金が776,722千円減少したことによるものです。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は11,399,440千円となり、前連結会計年度末に比べ、309,855千円の減少となりました。これは主に、資本金及び資本準備金がそれぞれ723,387千円増加した一方で、親会社株主に帰属する四半期純損失等の計上により利益剰余金が1,765,887千円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期においては、Electronic Arts Inc.と共同開発中のプロジェクト『EA SPORTS FC™ TACTICAL』のグローバルローンチを最優先に進めつつ、中期経営計画において計画している他2タイトルのプロジェクトの新規開発に注力しております。加えて、ハイブリッドカジュアルゲームや海外向けゲーム開発支援モデルなどのIPビジネス分野への投資にも継続して取り組むことで収益源の多様化を図りつつ、コストコントロールの徹底を通じて、黒字への

早期回復を目指しております。

現時点において、『EA SPORTS FC ™ TACTICAL』はグローバルローンチによる業績への大きな貢献を見込むものの、その時期を明示出来ないことから、2024年12月期の連結業績予想については、合理的かつ信頼性のある業績予想の提示が困難と考え、非開示としております。

なお、今後の進捗を踏まえ、算定が可能になった場合は速やかに開示する方針です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,211,236	2,547,921
売掛金	1,395,920	975,017
その他	1,890,435	1,659,706
貸倒引当金	△133,285	△45,518
流動資産合計	5,364,306	5,137,126
固定資産		
有形固定資産	156,101	124,083
無形固定資産		
のれん	644,293	577,642
ソフトウェア	39,386	167,428
ソフトウェア仮勘定	5,822,872	6,647,730
その他	3,969	3,414
無形固定資産合計	6,510,522	7,396,216
投資その他の資産		
投資有価証券	3,238,380	3,533,021
その他	2,485,616	1,618,137
貸倒引当金	—	△89,132
投資その他の資産合計	5,723,997	5,062,026
固定資産合計	12,390,621	12,582,326
資産合計	17,754,928	17,719,453
負債の部		
流動負債		
買掛金	627,069	620,188
短期借入金	—	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	1,366,676	1,068,458
未払法人税等	106,066	42,840
前受金	1,055,308	1,857,253
賞与引当金	128,641	27,338
その他	791,239	590,023
流動負債合計	4,075,000	5,206,103
固定負債		
長期借入金	1,810,632	1,033,910
その他	160,000	80,000
固定負債合計	1,970,632	1,113,910
負債合計	6,045,632	6,320,013
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,457,956	6,181,343
資本剰余金	5,212,506	5,935,893
利益剰余金	1,009,094	△756,792
自己株式	△397,377	△397,395
株主資本合計	11,282,179	10,963,048
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	465,821	799,024
為替換算調整勘定	△332,383	△375,957
その他の包括利益累計額合計	133,437	423,066
新株予約権	289,401	13,324
非支配株主持分	4,276	—
純資産合計	11,709,295	11,399,440
負債純資産合計	17,754,928	17,719,453

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年9月30日)
売上高	8,355,895	6,058,908
売上原価	6,942,818	5,349,245
売上総利益	1,413,077	709,662
販売費及び一般管理費	2,144,253	1,822,863
営業損失(△)	△731,175	△1,113,200
営業外収益		
受取利息	18,523	7,765
受取配当金	45,187	58,803
持分法による投資利益	7,001	—
為替差益	364,816	—
その他	11,892	29,163
営業外収益合計	447,422	95,732
営業外費用		
支払利息	27,835	26,335
投資有価証券売却損	—	61,661
為替差損	—	35,798
その他	143,027	40,815
営業外費用合計	170,862	164,609
経常損失(△)	△454,615	△1,182,078
特別利益		
投資有価証券売却益	32,036	—
関係会社株式売却益	—	4,453
その他	2,960	8
特別利益合計	34,997	4,461
特別損失		
減損損失	33,831	—
関係会社清算損	—	5,709
その他	760	648
特別損失合計	34,591	6,358
税金等調整前四半期純損失(△)	△454,210	△1,183,975
法人税等	137,487	573,464
四半期純損失(△)	△591,697	△1,757,440
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△591,697	△1,757,440

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純損失(△)	△591,697	△1,757,440
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	193,807	333,203
為替換算調整勘定	△103,574	△44,908
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,494	—
その他の包括利益合計	87,738	288,295
四半期包括利益	△503,959	△1,469,145
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△503,959	△1,467,811
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△1,333

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

当社は、2024年4月10日付の取締役会において、マッコーリー・バンク・リミテッドを割当先とする第三者割当の方法による第19回新株予約権（以下「本新株予約権」といいます。）及び第1回無担保社債（私募債）（以下「本社債」といいます。）の発行を行うこと、並びに当社が2022年7月22日に発行した第18回新株予約権（行使価額修正条項及び行使許可条項付）（以下「第18回新株予約権」といいます。）について、残存する第18回新株予約権の全部を取得し、その後直ちに消却することをそれぞれ決議いたしました。

また、2024年4月26日付で、本新株予約権及び本社債の総額の払込を受けるとともに、第18回新株予約権の全部取得及び消却を完了しております。

なお、本社債の社債権者は、本社債の償還金額の累計額が本新株予約権の行使により割当先から当社に対して払い込まれた金額の累計額を超えない範囲でのみ、額面100円につき金100円で本社債の全部又は一部の期限前償還を求めることができるとされており、すでに全額償還しております。当第3四半期連結累計期間における本新株予約権の権利行使による資本金及び資本準備金の状況につきましては、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 2. 株主資本の著しい変動」に記載しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の権利行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ723,387千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が6,181,343千円、資本剰余金が5,935,893千円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
	ゲーム事業		
売上高			
ユーザーからの課金収益	6,483,119	—	6,483,119
その他	1,289,099	583,677	1,872,776
顧客との契約から生じる収益	7,772,218	583,677	8,355,895
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	7,772,218	583,677	8,355,895
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	7,772,218	583,677	8,355,895
セグメント利益	1,121,749	291,328	1,413,077

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ブロックチェーン関連事業・その他事業を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しているため差異調整は行っておりません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
	ゲーム事業		
売上高			
ユーザーからの課金収益	4,628,568	—	4,628,568
その他	1,363,528	66,810	1,430,339
顧客との契約から生じる収益	5,992,097	66,810	6,058,908
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	5,992,097	66,810	6,058,908
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	5,992,097	66,810	6,058,908
セグメント利益又は損失(△)	757,143	△47,480	709,662

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しているため差異調整は行っておりません。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、株式会社BLOCKSMITH&Co.の株式を一部売却したため、株式会社BLOCKSMITH&Co.及び同子会社であるBLOCKSMITH&Co. Singapore Pte. Ltd.を連結の範囲から除外し、株式会社BLOCKSMITH&Co.を持分法適用の範囲に含めております。

これに伴い、第1四半期連結会計期間より「ブロックチェーン関連事業」を報告セグメントから除外しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	176,805千円	65,442千円
のれん償却額	66,651千円	66,651千円

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、3期連続の営業赤字及び営業活動によるキャッシュ・フローのマイナスにより、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

一方で、当社グループは現在、海外大手のゲームパブリッシャーと共に開発しているタイトル『EA SPORTS FC™ TACTICAL』においてはリリースまでの期間が長期化しているものの、国内大手のディベロッパーと開発しているIP名未公表のタイトルやTVアニメ『僕のヒーローアカデミア』のIPを活用したタイトルといった大型のモバイルオンラインゲームのリリースに向けて事業を推進しております。

加えて、従来のモバイルオンラインゲームとは収益構造が異なるハイブリッドカジュアルゲームの新規開発も推進しており、新たな事業領域の開拓にも取り組んでおります。

また、費用面では、足元の売上貢献度の低い施策を見直すこと等により、外注費や人件費等の削減を行ってまいります。

さらに、財務面においては、手元流動性確保のため、投資有価証券等の売却や、政策保有株式を含めた資産の効率的な運用に向けた対応を進めるとともに、金融機関からの資金調達を継続的に行うことで財務基盤の更なる強化を図ってまいります。また、共同事業スキームによる開発費用の分担や、グループ全体での資金の効率的な活用も併せて進めてまいります。

以上のことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。